

教育奨励賞



越智 可奈子

略 歴

2006年 3月 香川大学医学部医学科 卒業
2006年 4月 岡山大学病院卒後臨床研修センター 初期研修医
2008年 4月 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター 総合診療科 レジデント
2010年 4月 岡山大学病院 腎臓・糖尿病・内分泌内科 医員
2017年12月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 博士課程終了
2020年 4月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科附属 医療教育センター 助教（現 岡山大学学術研究院医歯薬学域（医） 医療教育センター）
現在に至る

業 績 要 旨

2017年に内分泌の基礎研究にて学位取得後、2020年4月に医療教育センターに着任し、医学科における学年進行の授業である行動科学（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ）を担当し、医学生が医師になる課程で重要な全人的医療の在り方を中心に、医師の使命およびプロフェッショナリズム・患者を含めた他者理解・コミュニケーション力・問題解決能力習得を学修目標とし、スモールグループディスカッション形式を多用した実習・講義を実施している。低学年時の実習・講義では基礎医学と臨床医学の関連づけに重点をおき、基礎医学の重要性を学生に伝えるとともに、臨床現場を意識した実践的な実習を導入するなど、医師を目指す動機づけに重点をおく教育を実践し、保健学科学生との合同実習、PBL（Problem based learning）形式での実習を主導している。また、コロナ禍の対応として医学生に対してオンラインでのディスカッション形式を導入した実習・講義を行う一方で、手指衛生実習、ゾーニング実習、個人用防護具装着実習等を実施することで、医学生への感染症教育や手技実践教育等も幅広く行っている。キャリア教育・支援として、岡山大学病院と連携し医学生・初期研修医を対象に「岡山大学病院専門医研修ナビ」の運営に携わり、医学生を支援する取り組みを行うとともに、臨床・教育研究を中心に着実に論文も発表している。以上の教育貢献が総合的に評価された。